2011 年 8 月 30 日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

業界初！日興 AM×東芝ドキュメンツのコラボレーション

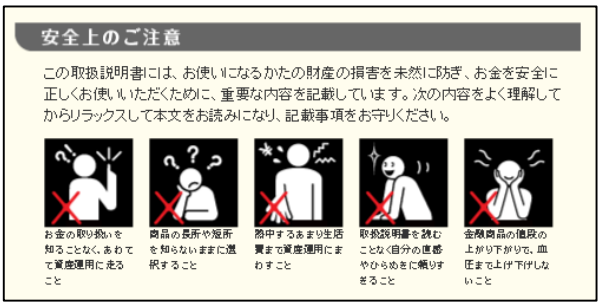
お金の整理から資産運用までの基本をまとめた ウェブサイト「お金のトリセツ（取扱説明書）」オープン！

http://www.okanenotorisetsu.jp

日興アセットマネジメント株式会社（以下、日興 AM）は、本日、「お金のトリセツ（取扱説明書）」ウェブサイトを公開します。ウェブサイト訪問者が自分に合ったお金の取り扱い方法をみつけ、実践に移す際に参考となる内容をご紹介しています。この「お金のトリセツ」ウェブサイトは日興 AM が、取扱説明書作成の専門集団である東芝ドキュメンツ株式会社（以下、東芝ドキュメンツ）と共同で制作しました。金融業と製造業のノウハウを持ち寄り、金融商品の取扱説明書に共同で取り組む初めて*の試みとなります。（*日興 AM 調べ）

「お金のトリセツ」ウェブサイトは、お金の整理法や、比較的よく名前の挙がる金融商品を平易な言葉で説明しています。トリセツらしいビジュアル表現と、オリジナルの「お金、ちゃんとシート」が大きな特徴です。「お金、ちゃんとシート」は、自分に合った投資金額や金融商品を知るのに役立つコンテンツで、お金についての簡単な質問に回答すると、お金をきちんとふやしていくために参考となる方法が紹介されるつくりになっています。また特別コンテンツとして、人気主婦向け雑誌監修の「賢（かし）テク診断」を用意しました。ウェブサイト訪問者が自分のお金への理解度・相性度を測るコンテンツで、「運用に興味があるけれどまだ始めていない人」が運用の「いろは」を学んだり、「すでに運用を始めている人」が自身の運用を見直したりできるページです。コンテンツは、今後ユーザーからの声を活かし、さらに進化させていく予定です。

「お金のトリセツ（取扱説明書）」サイト
http://www.okanenotorisetsu.jp
親しみやすいダイヤブロックをサイトのビジュアルに使用。



～ トリセツらしいビジュアル表現 ～
「お金の取扱説明書の読みかた」ページより

昨秋より日興 AM では、投資信託と投信会社の「見える化」に取り組んでいます。その施策では、投資信託を作り、お届けしているメーカーとしての役割を伝えるために自らを「投信製作所」と名乗っています。東芝ドキュメンツは株式会社東芝のグループ会社で、1994 年の創業以来、東芝の家電製品などを中心に取扱説明書の制作に携わっている専門会社です。「日本マニュアルコンテスト（テクニカルコミュニケーター協会主催）」にて過去 3 年間に 3 作品もの受賞実績を持ちます。投資や運用の情報はインターネットや書籍で数多く出されていますが、日興 AM では難しい内容と用語に溢れている現状を改善したいと考え、東芝ドキュメンツにコラボレーションを提案し、この度の試みが実現

日興アセットマネジメント株式会社
〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
www.nikkoam.com

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 368 号
加入協会：社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

しました。

日興 AM のマーケットコミュニケーション部長の汐見拓哉は、次のように述べています。「日興 AM では『伝わるまで伝える』をスローガンに、一般消費者向けの情報提供を行なっています。この東芝ドキュメンツとの『お金のトリセツ（取扱説明書）』ウェブサイトのプロジェクトでは、金融業界の慣習に囚われずにお金の整理法をいかにわかりやすく伝えるかを徹底的に追求しました。ピクトグラム（絵文字）の導入やステップ分けなど、トリセツで広く使われる手法を用いることによって、金融商品の説明を親しみやすくすることができました。投資信託は、『お金をちゃんとしたい』と考えるどんな方にも、使いこなしていただきたい便利なツールのひとつです。これからも『伝わる』情報のご提供に注力していきます」。

東芝ドキュメンツの事業推進部長の河辺正博は、次のように述べています。「これまでは形のある家電製品のトリセツの制作が中心だったので、形のない金融商品のトリセツを制作するというプロジェクトは、私たち東芝ドキュメンツにとっても大きな挑戦でした。しかし、日興AMとのコラボレーションにより、私たちが培ったトリセツのノウハウを活かし、商品を理解していただこうという思いを詰め込み、従来の金融商品の説明書などにはない見やすく、斬新なサイトを完成させることができたと自負しています」。

日興 AM は、これからもものづくり精神あふれる投資信託のメーカー「投信製作所」としてさまざまな活動を実施していきます。

以　上

ウェブサイト概要

▼ サイト名　　：お金のトリセツ（取扱説明書）
▼ サイト URL　　：http://www.okanenotorisetsu.jp
▼ サイトの概要：
お金のことをもっとちゃんとしたいと考えている人を対象としたウェブサイト。お金の整理から運用までを、取扱説明書として「準備編」「はじめる編」「お金、ちゃんとシート」など各ステップに分けて紹介しています。

コンテンツ紹介（一部）

▼準備編
投資や運用の際にまずは知っていただきたいお金の整理から、
金融商品の知識などを 5 つのステップで説明。
自分に合ったお金の付き合い方を学ぶことができます。

「いろいろな金融商品を知る」

【準備編の目次】
・STEP1 「節約の次はふやすこと」
・STEP2 「自分のお金を整理する」
・STEP3 「投資のしかたを選ぶ」
・STEP4 「いろいろな金融商品を知る」
・STEP5 「投資信託を知る」

▼お金、ちゃんとシート
現在の収入や貯蓄を入力し、簡単な質問に答えるだけで、お金を整理する 3 つのポケット（「生きる」「育てる」「楽しむ」）にそれぞれ入れるべき金額の目安を出してくれます。さらに、お金をふやすためにこれからなにをすべきかアドバイスも提示してくれます。

「お金、ちゃんとシート」診断結果（一例）

日興アセットマネジメント株式会社
〒107-6242　東京都港区赤坂 9-7-1　ミッドタウン・タワー
www.nikkoam.com

【3つのポケットとは？】
　部屋や洋服と同じように、資産運用でもお金の整理整頓がとても大切です。今あるお金を「生きる」「育てる」「楽しむ」という3つのポケットに分けて考えると、お金と上手につき合いながら、賢くふやしていくコツがわかります。
▼賢（かし）テク診断
『お金のことはよく分からない。だけど、お金には興味がある』という人や、『いきなり「お金の取扱説明書」だとハードルが高い』と感じる人には、「お金」に対する理解度、相性度をはかる「賢テク診断」がオススメです。
診断結果の賢テクレベルに応じて、「お金のトリセツ」の各ページに誘導してくれます。
「賢テク診断」は、女性に人気の「おはよう奥さん」監修によるコンテンツで、お金にあまり詳しく無い方でも楽しんでお試しいただけます。

「お金との相性がわかる！賢テク診断」

「投信製作所」とは
　日興AMは、“ものづくり精神”あふれる投資信託のメーカー、つまり「投信」の「製作所」です。商品を送り出した後も、よりよいパフォーマンスをめざした運用に努めています。私たちがつくり、運用する投資信託という金融商品が「形がない」ゆえに「理解されにくい」という課題に正面から挑み、投資信託を目に見える形で紹介するための活動をスタートします。
　日興 AM は、「株式」「債券」「不動産（REIT）」などの金融資産を組み合わせてつくられている投資信託と、創造力や知性を働かせて最適なパーツを選んで組み立てるブロック遊びに共通点を見出し、投資信託を「見える化」するアイコンとしてブロックを活用しています。金融業界でこれまでにない、まったく新しい投資家啓発、プロモーション活動を展開していきます。
　日興 AM は、2011 年 3 月に公開をした mixi アプリ「ハッピー金活女子診断」を皮切りに、「投信製作所」として、これまで投資信託など金融商品を身近に感じていなかった方々にも親近感を持っていただき、より深く理解していただくための活動を、今後も続々と展開していきます。

【投信製作所　活動】
1. 2011 年 3 月　mixi アプリ：あなたの潜在的な金銭感覚がわかる「ハッピー金活女子診断」
2. 2011 年 3 月　冊子「投資信託の取扱説明書　-お金、ちゃんとする-」発行
3. 2011 年 8 月　親子お金研究室：ブロックを使って親子で学ぶお金に対する正しい向き合い方を学んでみよう
4. 2011 年 8 月　「お金のトリセツ（取扱説明書）」ウェブサイトをオープン

その他、特別ウェブサイトや学生向けイベントなど、楽しい投資家啓発のプロジェクトを続々計画中です。

日興アセットマネジメント株式会社
〒107-6242　東京都港区赤坂 9-7-1　ミッドタウン・タワー
www.nikkoam.com

■リスク情報

○ 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

○ 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

お申込手数料	上限 4.20%（税抜 4.0%）
換金手数料	上限 1.05%（税抜 1.0%）
信託財産留保額	上限 1.0%

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

信託報酬（年率）	上限 2.9975%（税抜 2.95%） 一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬　など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

《ご注意》

○ 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。（当資料作成日現在）

○ 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■その他の留意事項

○ 当資料は、ウェブサイト「お金のトリセツ（取扱説明書）」についてお伝えすることを目的として作成した資料です。

○ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

○ 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

東芝ドキュメンツについて

東芝ドキュメンツ株式会社（本社　東京都港区）は、東芝全体のドキュメントの品質の確保・向上を目的に、1994 年 10 月に設立されました。取扱説明書やマニュアル、技術資料などのテクニカルドキュメントに始まり、カタログやパンフレット、展示博覧会などのセールスプロモーション、会社案内や東芝レビューなどの広報ドキュメント、そしてホームページやホスティングサービス等の Web のトータルサポートまでの企画・制作・

運用を行なうことで、幅広くお客さまのお手伝いをさせていただいています。

2002 年に ISO9001（品質管理および品質保証のための国際標準規格）の認証、2006 年には ISO14001（環境マネジメントシステム認証）、ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム認証）を取得し、品質管理、情報セキュリティ、環境面などに配慮した事業活動に取り組んでいます。

また、マニュアルの制作実績において、テクニカルコミュケーター協会主催のマニュアルコンテストおよび、パンフレットの制作では日本産業広告協会主催の日本 BtoB 広告賞を複数回に渡り受賞しています。

東芝ドキュメンツの事業拠点は全国 7 拠点に渡り、インターネットデータセンターも保有しており、
お客さまの事業に入りこんだドキュメント戦略のご提案を行なっています。
会社ホームページ：　http://www.toshiba-tdoc.co.jp

日興アセットマネジメント株式会社
〒107-6242　東京都港区赤坂 9-7-1　ミッドタウン・タワー
www.nikkoam.com